

令和4年第4回津市議会定例会…………… 2  
議決結果一覧表…………… 14



## 中勢グリーンパークの新たなエリアを官民が連携して整備中！

中勢グリーンパークでは、「津市民が誇りに思う、全世代の交流拠点となる公園」をコンセプトに、カフェレストランやバーベキュー場、さまざまなイベントに利用しやすい多目的広場などの施設を備えた新たなエリアを令和5年4月1日の開園に向けて現在整備を進めています。



# 令和4年第4回津市議会定例会

令和4年第4回定例会が、11月28日から12月22日までの25日間、開催されました。



閉会日の様子

## 議案質疑 一般質問

今期定例会では、12月5日から8日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から各議員が選んだものを掲載しています。

### 会派代表質問

- 3ページ……岩脇 圭一（津みらい）、八太 正年（自由民主党市議団）
- 4ページ……桂 三発（一期一会）、長谷川 植（未来開拓）
- 5ページ……村主 英明（津市創成）、福田 慶一（市民の声）
- 6ページ……岡村 武（至誠会）、坂井田 茂（津教育未来）
- 7ページ……佐藤 知子（津市の未来を考える会）、中野 裕子（日本共産党津市議団）
- 8ページ……渡辺 晃一（津市民の会）、伊藤 康雄（津和会）
- 9ページ……安積むつみ（公明党議員団）

### 個人質問

- 9ページ……保田 勝平
- 10ページ……小島 晴美、藤田 定彦
- 11ページ……伊藤 哲也、石川 禎紀
- 12ページ……柏木はるみ、川口 和雄
- 13ページ……山路小百合、青山 昇武

### 会派の構成

#### 津みらい

- 石川 禎紀 伊藤 哲也
- 藤田 定彦 ☆柏木はるみ
- 田中 千福 岩脇 圭一
- ◎吉田 博康 佐藤 有毅

#### 津市創成

- 龍神 啓介 ☆中田 耕平
- 吉川 一正 山路小百合
- ◎村主 英明 小野 欽市

#### 津和会

- ◎伊藤 康雄 ☆保田 勝平
- 川口 和雄 辻 美津子
- 倉田 寛次

◎代表者 ☆議会だより編集委員  
令和4年第4回定例会時点

#### 公明党議員団

- 堀口 順也 安積むつみ
- ☆小島 晴美 ◎青山 昇武

#### 日本共産党津市議団

- ◎☆中野 裕子

#### 一期一会

- ◎☆桂 三発

#### 至誠会

- ◎ 岡村 武

#### 津市民の会

- ◎ 渡辺 晃一

#### 一津会

- ◎ 田中 勝博

#### 津教育未来

- ◎ 坂井田 茂

#### 津市の未来を考える会

- ◎☆佐藤 知子

#### 未来開拓

- ◎☆長谷川 植

#### 市民の声

- ◎ 福田 慶一

#### 希望の風

- ◎ 田矢 修介

#### 自由民主党市議団

- ◎ 八太 正年

つ 津 み ら い

いわわき けいいち  
岩 脇 圭 一

録画映像



## 問 津駅周辺空間の基本的な方向性について問う

令和2年7月から津駅周辺道路空間検討会が設立され議論が進められており、令和4年10月に津駅前において歩道空間拡張に向けた社会実験が行われたところだが、どのような将来像を描いているのか。

また、令和3年度には「津駅周辺道路空間の整備方針」がまとめられたが、それに基づいた今後の取り組みはどのように行われるのか。

## 答 国・県・津市が連携を図りながら取り組む

津駅周辺道路空間の将来像については、津駅東口の歩行者デッキや東西自由通路の整備、駅前通りの歩行空間の拡張およびICTを活用した案内看板の設置などを行い、「みえ京都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間」へと再生することを描いている。

津駅周辺道路空間の整備方針に基づいた今後の取り組みについては、国・県・津市がそれぞれの役割分担の下、連携を図りながら、津駅周辺道路空間の整備方針の具体化に向けて取り組んでいく。

### その他の質疑・質問

- 津市公契約条例の一部の改正について
- 津市公契約審議会における審議経過について
- 自転車のまちづくり・安全利用の取り組みは
- 大門・丸之内地区未来ビジョンのたたき台が示されたが将来像の実現に向けた施策・役割分担・ロードマップをどのように描いているか
- エリアプラットフォームの進め方は **など**

▶津駅前にて行われた道路空間を利活用した社会実験の様子



じゅうみんしゅうとうしぎだん  
自由民主党市議団

はった まさとし  
八 太 正 年

録画映像



## 問 メンタルヘルス不調による長期休暇・休職中の職員数は

メンタルヘルス不調による長期休暇・休職中の職員は何人いるのか。

総合支所では、少ない職員数で助け合いながら、地域住民の方々のために職務に就いているが、長期休暇・休職者がいると、あとの残りの職員の業務に支障を来すと考えるがどうか。

## 答 30日以上病気休暇取得者は8人、休職者は30人である

令和4年12月1日現在、30日以上病気休暇を取得している職員は12人、休職者は34人の計46人となっている。このうち、メンタルヘルスの不調によるものについては、病気休暇を取得している職員は8人、休職者は30人の計38人となっている。

ご指摘のように、職員数が限られている中で、総合支所のように少ない職員数で対応している場合、長期休暇・休職者がいると、その分の仕事は、同じ総合支所内で助け合いながら分担して行っている。

### その他の質疑・質問

- 公共工事の火薬使用による民家破損に対しては被害家屋の原状復帰による補償を
- 他人の土地へ市営浄化槽を設置し国庫補助金の交付を受けたことは補助金適正化法違反では
- 県より譲り受けたズリの現況について
- 下水道事業で初めての技術提案型総合評価落札方式による入札および契約について **など**

▶リニューアルオープンした神原温泉湯の瀬の温浴施設について洗い場の排水の早期改修を





## 問 定年延長で職員のモチベーションは下がらないか

職員の定年が令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げられるが、定年引き上げが完成するのはいつになるのか。

また、管理職に就いていた職員が60歳に達した年度の翌年度から非管理職になり、給料月額も7割になる。

職員は、モチベーションを下げることなく仕事に取り組んでいけるのか。

## 答 プライドを持って業務に取り組めるよう環境整備を行う

職員全員が65歳で定年となり、定年引き上げ制度として完成するのは令和14年度になる。

定年引き上げの対象となる職員に対し定年引き上げ制度の趣旨や働き方について、しっかりと情報提供を行い、対象職員が制度の趣旨を十分理解した上で、それぞれが今まで培ってきた知識や経験が生かせる業務へ配置することで定年引き上げ前と同じように引き続きプライドを持って業務に取り組めるよう環境整備をしていく。

また、受け入れる側の現役世代の職員に対しても丁寧な説明を行い、定年引き上げ制度について職員全体の理解を深め、取り組みを進めていく。

### その他の質疑・質問

- 駐車場における消防車の事故について
- 不登校の児童生徒の現状について
- ビジネスサポートセンターの相談について
- 企業と企業のマッチングについて
- ごみの減量化のための指定ごみ袋導入について
- 投票率を上げるために投票日当日は何をしているのか。また、民間とのコラボはしないのか

▶ 企業と企業のマッチングにより生まれた、プラスチックをメッキに見せる技術



## 問 高齢者が自立して生活できる社会に向けた取り組みは

生涯現役。長く働き、できれば収入を伴い、できれば寝込むことない、よく言われる「ピンピンコロリ」の人生を全うする生き方、こうした生き方は誰もが望んでいて、素晴らしい人生だと思う。

現在の日本は、医療の発達で平均寿命は大きく延びたが、それに健康寿命の延びが追いついていないのが現状である。

健康寿命延伸のための取り組みは。

## 答 健康寿命の延伸を目指して栄養パトロールを実施している

高齢者が地域で自立した生活ができるよう、健康寿命の延伸を目指し、低栄養・フレイル予防事業として栄養パトロールを実施している。サロンなどの高齢者の集いの場へ保健師、管理栄養士、歯科衛生士などの医療専門職が出向き、フレイル予防に関する健康教育、フレイルチェック、健康相談を実施するとともに、フレイル予防のため、講演会の開催や市広報紙、ホームページなどでの啓発を実施している。また、健診・介護・医療データが集約された国保データベースシステムを活用し、フレイルのハイリスク者を抽出し、希望者には保健師等が6カ月間の個別支援を行っている。

### その他の質疑・質問

- 津市の中核市移行に係る取り組みの進捗状況は
- 運転免許証返納後に起きる問題点は
- コミュニティバスの現状や新たな取り組みは
- 後期高齢者独り住まいの問題点は
- 行動制限による健康寿命への影響について
- コロナ禍での健康寿命を維持するには
- 健康寿命に対する啓蒙活動について

▶ おしゃべりやレクリエーション、健康体操などを行うふれあい・いきいきサロンの風景





**問** 大規模災害発生直後にトリアージを行う医療救護所の在り方は

南海トラフ地震のような大規模な地震災害が発生した場合、インフラや通信網とともに病院も被害を受けるが、危機対応モードに切り替えて被災者、負傷者への対応に最善を尽くすためには、事前の決め事と準備が重要である。そこで、発災直後の医療救護活動に関する津市の方針の現状は。また、特に「トリアージ」を迅速に行う重要な役割を担う医療救護所をどこにどう設置する考えか。

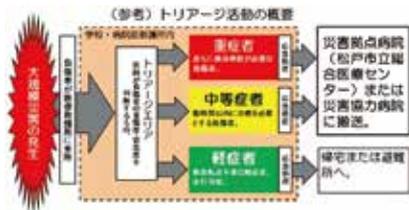
**答** 被災状況や負傷者の状況に応じて、柔軟に対応していく

震度5強以上の地震が発生した場合、まず、健康福祉部において、医療救護本部を中央保健センター内に設置、医療衛生班を編成して市内の被災状況等について情報収集し、医療救護所設置の必要性を判断する。その後、設置が必要となれば、救助活動を行う上で、安全な場所、津波等による二次災害の恐れがない場所、また、トリアージによる重症患者を速やかに救急搬送することが可能な場所を選定する。現在、設置場所について、大規模災害時における市内の被災状況等の想定が非常に困難であるため事前には定めていないが、被災状況や負傷者の状況に応じて、柔軟に対応する。

その他の質疑・質問

- 地域懇談会について、開催地域以外にも参考になることは、多くの市民にフィードバックすべき
- 学校給食の諸問題に対処する組織ガバナンスを
- 今こそ、内部統制に関する体系的な取り組みを
- 歴史的資源を活用したまちづくりの取り組みを
- 地域の課題解決に向けて、また、農福連携に取り組むよう、令和版営農会議の運営に工夫をなど

大規模災害発生時に迅速にトリアージが行える場所に医療救護所を設置している松戸市の事例



**問** マイナンバーカードの交付に係る状況について問う

市長は会見でマイナンバーカードの交付率引き上げには「便利になる実感をもってもらうことが必要」と述べられた。そこでまずマイナンバーカードの現在の交付状況はどうか。次に交付に関して、市民への理解を得るための考えや取り組み状況は。最後に、国はマイナンバーカードの交付率の低さをもって、自治体の普通交付税算定に反映させるとの報道があるが、これについての考えは。

**答** 市民の理解を得るために、利便性や安全性を発信していく

津市におけるマイナンバーカード交付率は、令和4年11月30日時点で51.8%であり、今年度中に60%に達する見込みである。

マイナンバーカードの交付に係る市民の理解を得るために、コンビニでの住民票の写しの発行や保険証の機能が付与されることなどの利便性をPRしていくことに加え、その安全性についても引き続きしっかり説明していく必要がある。

また、総務省はマイナンバーカード交付率を普通交付税の算定に反映させていこうとしているが、交付率の低さをもって懲罰的に交付税を減額するようなことはあってはならないと考える。

その他の質疑・質問

- 人への投資としてのリスクングについて
- 社会福祉法人の監査について
- 高騰する肥料対策について
- 下水道施設の耐震化について
- 教育の諸課題について
- 教科書採択への対応について
- 児童虐待と福祉部門の情報共有について など

市内商業施設に設けられたマイナンバーカード出張申請受付の会場





**問** 労働報酬下限額による報酬では労働者は生活できないのでは

津市公契約条例は、市民を幸せにするために作ったはずであるのに、大変な思いをしている労働者を逆に苦しめることになるのでは。

つまり、公契約条例に基づき定める労働報酬下限額は、「津市職員高卒初任給」の1時間当たりの単価を基準として設定することのだが、税金や社会保険料等を差し引くと手取りはさらに少なくなり、労働者は生活できないと考えるがどうか。

**答** 各個人の家庭や生活の環境によって異なるが難しい場合もある

労働報酬下限額による報酬で十分な生活が可能かどうかは、労働者各個人の家庭や生活の環境によって異なるが、全ての労働者がその額で生活できるかという意味では難しい場合もあると考える。

公契約条例の目的は、労働者の労働環境の確保や優良な事業者の育成であり、それが地域経済の健全な発展につながるというものである。津市公契約審議会から、現場で大変な思いをしている労働者の助けになるべきであるとの意見も頂いている中で、今後も運用状況を見ながら、社会情勢を勘案しつつ、必要に応じて効果的かつ効率的な方法を考えていきたい。

その他の質疑・質問

- 除草作業に伴う事故について
- 議案第117号津市職員の定年等に関する条例等の一部の改正等について
  - 60歳を超えると役職を退いて7割の給料となるがプライドを持って生き生きと仕事ができるのか
- 議案第119号津市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について

除草作業に伴う飛び石による事故がなくなるよう完璧なマニュアルにすべき



**問** 学校給食費の公会計化に向けた今後の計画と方向性は

文部科学省では、教員の業務負担の軽減等に向け、「学校給食費の公会計化」を促進している。見込まれる効果としては①教員の業務負担の軽減②保護者の利便性の向上③徴収・管理業務の効率化④透明性の向上⑤公平性の確保⑥給食の安定的な実施・充実の6点が示されている。新たな担当職員の増員を前提に公会計準備班を新設し、具現化していくべきと考えるが、今後の計画を問う。

**答** 公会計化と併せ、教職員の負担軽減について調査研究を進める

公会計化に当たっては、先進事例等から食材調達や給食費など各自治体で一定の整理がなされた上で移行されている。津市においては、合併後、中央学校給食センターの整備や小・中学校の給食費の統一等を進めてきた。現在は、各地域に食材選定委員会を設置し、業者登録制度の導入を進めるとともに、食材ごとの調達方法を整理している。

公会計化の実施に向けては、市の財務会計ルールにのっとった運用の課題の整理にまだまだ時間を要することから、教職員の負担軽減については、公会計化の実施と併せて、他によりよい方法がないか、さらなる調査研究を進める。

その他の質疑・質問

- 文科省GIGAスクール構想による、児童生徒1人1台のタブレット端末の運用と活用に関して
  - タブレット端末の破損および故障等について
  - 特別な支援が必要な子どもたちへの支援体制の充実に関して
  - 「スクール・サポート・スタッフ」および「教員支援員」の配置の拡充に関して **など**

学校管理下や家庭内使用での過失による破損については保護者負担の軽減・免除が望まれる





**問** 農福連携で、農業と福祉がますます良好な関係を築くためには

農福連携とは、障がい者が農業分野に携わることで、就労や生きがいづくりの場を生み出していく取り組みのことで、農業分野における働き手不足解消の効果も期待されている。これからの農福連携は、障がい者のみならず、高齢者や生活困窮者、ひきこもり状態にある方などへも対象を広げていくことが重要であるとされているが、これらの方への取り組みの推進はしているか。

**答** 関係機関や庁内関係部署と連携を図りながら支援を行っている

生活困窮者やひきこもりの状態にある方など、生きづらさや働きづらさを感じつつも就労を希望する方々については、援護課の生活福祉・自立応援包括支援窓口で相談を受けている。

就労に関する相談があった場合、相談者に寄り添いながら、生活リズムの崩れ、社会との関わりへの不安、就労意欲の低下など複合的な課題に対応できるような支援や、就労に必要な実践的な知識および技能取得の支援を行うとともに、就労体験の一つとして農業体験などの案内を行い、関係機関や庁内関係部署との連携を図りながら、社会復帰のきっかけとなる支援を行っている。

その他の質疑・質問

- 災害時、津市の備蓄の考え方は
- ワクチン接種の安全対策について
- 教育現場でのマスク着脱ルールと給食時の黙食について

▶ 大きさを見極めながらシイタケを収穫（県の農福連携の取り組み）



**問** 市立中学校の不合理な校則の見直しの現状と今後の方針は

市内の中学校に通っていた当時、不合理と感じる校則が多く、声を上げて無駄だと思っていた。その後「ブラック校則」という言葉が認知され、見直しを行おうという機運が高まった。校則の厳格化は子どもの意見表明を妨げ、政治参加をも妨げる一因となる可能性が示唆される。子どもが主体的に校則を見直すことは、主権者教育にもつながると考える。見直しの現状と今後の方針は。

**答** 市内の全ての中学校で見直し済み、または見直す方向である

かつては学校も校則を守らせることに重点を置いていたが、今は多様性を認め合う時代であり、校則についても生徒の声、実情、保護者の考えを踏まえて見直しを行っている。

市内の20校の中学校のうち、12校はすでに校則の変更を行っており、残りの学校も見直しの方向で考えている。

校則は、生徒に守らせるばかりでなく、何のために設けた決まりであるのか生徒が理解することが大事であり、生徒が自ら考え、しっかり行動できるようにしていきたい。

その他の質疑・質問

- 議案第115号津市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 「統一協会」と津市行政との関わりは
- 小中学生の医療費窓口無料化について市長の現在の考えは
- 加齢性難聴者の補聴器購入に当たっての費用助成を

▶ サイドを刈り上げた「ツーブロック」。一部の学校で禁止されていた髪型





## 問 ところめの里一志のパターゴルフ場廃止と跡地利用の考えは

ところめの里一志のパターゴルフ場は平成9年3月にオープンし、複合施設の一部として機能の目的を果たしてきた。しかし、昨今「高い維持管理費、使用頻度・収入を考えた時、多くの市民のための施設に」等の声を多く聞く。また、令和4年8月の地域懇談会でも「浸水想定区域内にあり築50年経過のコスモス作業所を早期移転・早期着工を望む」等の声もあり、今後の考えを問う。

## 答 年度末に廃止し、コスモス作業所の移転先として予定している

パターゴルフ場は、利用者が年々減少しており、直近5年間において、平均年間利用者数は473人で、年平均約215万円の赤字が発生している。また、維持管理経費が年々増加していることに加え、開設以降、施設の更新が行われておらず、再整備には多額の経費が必要となることから、令和5年3月31日をもって廃止することとしている。

なお、パターゴルフ場の跡地については、令和4年10月28日に開催された会議において、障がい福祉サービス施設敷地として民間事業者に譲渡する方向性について承認されたことから、コスモス作業所の移転先として予定している。

### その他の質疑・質問

- 市長に問う
- 就任以降誇れる実績や苦労した事業等は
- 未来に向かっての課題や想いは
- ポートレース事業について
- 現在の経営状況や事業の計画等について
- 公民館の充実について
- 使用状況の地域格差や減免の扱いについてなど

▶  
年間約215万円を赤字計上している、ところめの里一志のパターゴルフ場



## 問 海浜公園内陸上競技場の整備は安心・安全な別の場所に

海浜公園内陸上競技場は、安濃川と海岸に近く、豪雨による河川氾濫時の浸水が3m未満、震度6強の地震による津波が5mと想定され、液状化の恐れが懸念されている区域にある。

今回の整備を計画している現在の場所は災害リスクが大変大きい場所であるので、利用者の安心・安全が確保できる別の場所にて早急に整備すべきと考えるが、どうか。

## 答 現在の場所でないと再整備は困難と考える

海浜公園内陸上競技場付近の海岸堤防は、国の直轄事業により、かさ上げ工事が実施され、平成23年度に堤防高6mの整備が完了している。

津波や洪水のおそれがある場合は、堤防の有無にかかわらず、人命を最優先に考え、避難誘導マニュアルの検証を行いながら、よりの確な避難ができるよう対応していきたい。

陸上競技場はトラックだけでなくスタンド等も必要となるが、他の市有地には陸上競技場を設置できる平坦で広大な面積を有する適当な土地はなく、競技場配置に係る方位においても規定があり、現在の場所でないと再整備は困難と考える。

### その他の質疑・質問

- 屋内総合スポーツ施設サオリーナについて
- 令和版営農会議について
- 人口減少対策会議について
- リニア中央新幹線調査事業について
- 市営浄化槽事業について
- 県道草生窪田津線について

など

▶  
整備計画されている海浜公園内陸上競技場





## 問 妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を問う

国は総合経済対策として、妊娠時から出産・子育てまでの伴走型相談支援を充実させ、特に支援が充分でない0～2歳児へ、必要なサービス等が行き渡る経済支援を一体とした出産・子育て応援交付金事業を創設する。この事業を効果的に活用し、現在津市が実施する妊娠期から出産・産後にわたる支援をさらに充実させる良いチャンスである。伴走型相談支援・経済的支援に対する市の考えは。

## 答 国の動向を注視しながら、支援実施に向けて検討していく

国が令和4年11月22日に行った本事業に係る自治体向け説明会で、伴走型相談支援については、妊娠届出時など3回の面談を実施することとしているが、津市では既に妊娠届出時と出生2カ月ごろに全戸訪問しており、国が示す8カ月前後の面談実施についても、可能であると考えている。また、経済的支援についても、国は出産・子育て応援ギフトという形で電子クーポン等の電子的な方法の活用を示しており、今後の具体的な進め方は国が提示する予定であるが、早期執行のため、市としては、現金給付も可能であると考えており、引き続き国の動向を注視しながら、検討していく。

### その他の質疑・質問

- 三重大学・津市子ども教育センター（仮称）の開設で、何が改善され、期待される効果は
- 学校および園での、てんかん発作時の口腔用液投与について適切な対応の体制整備への考えは
- 環境問題について・GXに対する市の考えと、環境問題に積極的に取り組む企業と連携したグリーンライフポイント制度導入の考えは

▶  
ペットボトルからペットボトルへの水平リサイクルでCO<sub>2</sub>削減。ごみではなく大事な資源



ラベル等割がさず汚れた状態で圧縮されたペットボトル  
ラベルを外し内容物も洗って出されたペットボトルの圧縮



## 問 市内保育施設における使用済み紙おむつの処分について問う

市内私立保育施設39施設のうち過半数に当たる23施設が、使用済み紙おむつを施設で処分している。しかし、公立では処分している保育施設はない。使用済み紙おむつの処分という観点だけで見ると、保育サービスの質を下げているのが公立側といえるこの状況をどのように捉えているのか。

また、今後はどのような対応を検討しているのか。

## 答 実施に向けて、検討を進めている

市内の私立の保育所等では、施設で使用済み紙おむつを処分しているところもあるが、処分していない保育所等もある。津市では、公立と私立の調和による保育の提供を基本としており、全ての保育所等が標準的な保育サービスとして提供していくことができる環境が必要と考える。

県政要望をしているが、費用が公定価格に反映されたとしても、紙おむつの処分方法はさまざまであることから、具体的な処分方法については、津市の特性を踏まえて、効率的かつ効果的なものが望まれるため、実施に向けて、現在検討を進めている。

### その他の質疑・質問

- 議案第123号津市都市公園条例の一部の改正について
- マイナンバーカードの普及について
- 自治会活動への支援について

▶  
公立保育施設で発生する使用済み紙おむつは、自宅に持ち帰り廃棄している





**問** 病児・病後児保育施設の利用に  
ネット予約システムの導入を

子どもが病気になったときや病気の回復期などに、家庭で保育が困難な保護者に代わって子どもを預かる病児・病後児保育施設を利用する場合、電話で予約を行っているが、電話がつながらなかったり、施設側も保育の途中で電話対応に時間が取られる等の課題がある。スマホ等で24時間予約やキャンセルが可能なネット予約システムを導入すれば、課題が解決されると思うがいかがか。

**答** 国の補助金の活用など、適宜相談に応じていきたい

現在、津市内には、津病児デイケアルーム「ひまわり」、津病後児保育室「HUG」、高田病後児保育所「ぬくみ」、一志病院病児・病後児保育室「みどり」の4施設が開設されている。

最も定員が多い病児・病後児保育施設である「ひまわり」については、国の補助を活用して、本年度にネット予約システムを導入する予定であり、年度内の完成を見込んでいる。

他の施設についても、新たにネット予約システムの導入を希望される場合は、国の補助金の活用など、適宜相談に応じて、鋭意取り組んでいきたいと考えている。

その他の質疑・質問

- 祖父母手帳の導入を
- 若者の貧困について
- 行政相談窓口新しいセーフティーネットを
- 南海トラフ地震対策について
- 南海トラフ地震臨時情報への対応は
- 臨時情報が出た際の学校の対応は
- 津市広域避難計画について

など

▶  
他市で配布されている祖父母手帳（愛知県小牧市と埼玉県さいたま市）



**問** 現業職員の4級への昇格を積極的に

職員の定年が60歳から65歳に引き上げられるが、定年引き上げ後の60歳を超える職員の給料月額を7割水準とする根拠は何か。

また、現業職員は定年引き上げ後もその業務内容に差はないと思われるため、今後、給料月額を7割水準とするのであれば、現業職員の4級への昇格を積極的に行うことはできないか。

**答** 現業職員の4級への昇格をこれからも推進していきたい

給料月額を7割水準とすることは、国家公務員が法改正により60歳超の職員の俸給月額について当分の間100分の70を乗じて得た額とする措置を講じるとされ、地方公務員も国に準じるため、地方公務員法が改正されたことによるものである。

7割水準の根拠は、国家公務員の給与は情勢適応の原則があるため、民間企業の実情を考慮し、国の調査結果を踏まえ60歳前の7割水準となるように制度設計されたことによるものである。

また、現業職員が4級に昇格してリーダー的な役割を担って、若い職員を引っ張っていただけるようこれからも現業職員の昇格を推進していきたい。

その他の質疑・質問

- 現業職員の4級への昇格について
  - 定年時の現業職と非現業職の給料月額の差は
  - 現業職員は何人いて、そのうち4級の職員は何人が、その職員が4級に昇格したのは平均何歳か
  - 非現業職は5級以上の職務の級へそれぞれ平均何歳で昇格するか
- 本人通知制度について

▶  
不正防止のため、「本人通知制度」の導入を



個人質問

津みらい

いとう てつや  
伊藤 哲也

録画映像



問 津市の水産物不漁に伴う支援策について問う

コロナ禍の7年連続の禁漁に始まり、令和4年の真イワシの不漁、令和3年のバカ貝の不漁、アサリに関しては、ここ五、六年は水揚げがゼロの状態が続いている。

雲出川や津市内の河口でアサリの稚貝が大量に発生しているが、大きくなるまでに死んでしまう。

様々な支援は考えていただいていると思うが、現在行っている支援策と今後の支援策は。

答 ハマグリの種苗放流を継続し、成果が上がるよう取り組む

津市では、魚介類等の水産資源を将来にわたり確保するため、毎年、ハマグリ、ガザミ、マコガレイの種苗放流を行い、各漁協を支援しており、ガザミやハマグリに放流の効果が表れていることから今後も継続していく。また、漁獲高が上がっていない放流魚種の変更など、県や各漁協と協議し、取り組んでいく。なお、県においては、伊勢湾のアサリ資源の回復に向け、強い波による稚貝の流出を防ぐなどの取り組みを行っているため、天然稚貝の移動に関する助言や貧酸素水塊に関する情報提供を行うとともに、アサリの水産資源の確保について県へ要望していく。

その他の質疑・質問

- 津市職員定数条例の一部の改正について
  - 職員定数を2,750人とした根拠・考え方は
  - 時代の変化によって職員体制に見直しが必要となった場合、定数条例の改正はあり得るのか
- 小規模公園の維持管理について
  - 市内に自治会が管理している公園はどのくらいあるのか

▶ 翌年に向けたバカ貝、ハマグリの試験引きの様子



個人質問

津みらい

いしかわ よしのり  
石川 禎紀

録画映像



問 デジタル地域通貨について問う

地域外への経済流出を抑え、地域内の流通を活性化し、市内業者の支援や経済循環の促進を図る地域循環型通貨、デジタル地域通貨を運用してはどうか。また、マイナンバーのIDを格納するマイキープラットフォームを活用し、デジタル地域通貨を運用することでコミュニティの活性化、自治体ポイントなどの市民サービスの向上につながるのではないかと見解と課題点を問う。

答 全庁的な取り組みとしてデジタル地域通貨を調査研究していく

デジタル地域通貨の活用に向けては、ポイントの付与が市民活動や地域コミュニティの活発化などにつながられ、誰もが利用しやすく魅力を感じる仕組みとなるようシステム設計や庁内での体制のほか、システムの運用や関係団体と連携などを検討していく必要があると考えている。

国において整備されている、マイナンバーカードに備え付けられたマイキープラットフォームを使って、ポイント給付施策を行う自治体もあり、このような先進自治体の取り組みや動向の把握も含め、全庁的にデジタル地域通貨を有効的に活用する方法を調査研究していく必要がある。

その他の質疑・質問

- 地域資源を生かした官民連携の観光の取り組みによる振興について
  - 大人が楽しめる社会科見学について
- コロナ禍における学校生活でのマスク着脱および感染対策の対応について
  - 子どもたちの心のケア、自尊感情を育むための対応について

▶ さまざまな市民サービスで付与されるポイントを地域経済へ循環できる仕組みを



つ 津みらい

かしわざい  
柏木はるみ

録画映像



## 問 認知症に関する支援を進めるには市民への周知が必要では

認知症と診断された方や介護する方は大変な思いをしており、その方々を支える活動はとても重要である。津市には、認知症サポーター等で作られた「チームオレンジ・あしたば」や、当事者がさまざまな悩みを話し合える「認知症カフェ」などがあるが、さらに広げていく必要がある。津市が取り組んでいる施策を市民に知っていただくことで、認知症に関する支援が進むと思うがどうか。

## 答 認知症施策をさらにPRして推進の仕方を考えていきたい

津市の認知症施策は、総合的にさまざまなことをきめ細かくやっているが、どなたが認知症になられるか分からないことから、当事者と関わる方々が未経験ということがよくある。そのため、施策についてさらにPRをして、そういう方々が相談しやすく、必要なときに、津市がこういう認知症施策を進めている、体制を持っているということを広報紙で読んだことがあると思っていただくことがとても大事だと思う。今後、この認知症のことをより丁寧に、今は関心がないけれども将来関わるかもしれないという方々の気持ちに届くような施策の推進の仕方を考えていきたい。

### その他の質疑・質問

- 「性と生殖に関する権利」の学校教育の現状は
- L G B T Q (性的少数者)に関する教育は
- 初潮に関する教育と教職員の体制は
- 生徒用トイレへの生理用品の設置は
- 公共施設廃止後の利活用について
- 「教育機会確保法」に基づいた「津市教育振興ビジョン」の策定を **など**

▶ 高齢社会に伴う「誰ひとり取り残さない」ための認知症施策のさらなる推進と充実を



しんわかい  
津和会

かわぐち かずお  
川口和雄

録画映像



## 問 合特法に関する支援事業は公正公平な運用なのか

合理化事業の趣旨は、下水道整備に伴い、し尿くみ取り業者に生じた損益分を代替業務で支援（補填）するというものであるが、令和3年度決算において、平成10年度に県等で取り決められた基本ルールに基づくと、損益分となる支援事業委託費が約4,500万円であるのに対し、特定業者においては地域外も含め、約2億1,000万円以上の支援事業が発注されているが公正公平な運用なのか。

## 答 県下のガイドラインに基づく支援を行っている

下水道の整備は数十年を要する事業であるため、長期的に許可業者の経営の安定を図ることは、残されたし尿くみ取り、浄化槽設置世帯の廃棄物処理の安定にもつながることから、年度変動を緻密に計算し、単年度ごとの減収分を補填する方法ではなく、長期的な目線で安定的に支援することが必要と考える。したがって、平成10年度のガイドラインにも定められている下水道への直結件数を支援の基礎とする算定方法は妥当と考えている。

なお、県内他市でも同様の価格帯を設定して合特支援を実施しており、津市が著しく過剰な支援を行っているわけではない。

### その他の質疑・質問

- 委託契約書および暴力団等の不当介入の排除等に関する特記仕様書について
- 受注者の役員等が暴力団と密接な関係を有していると市民から実名入りで具体的な情報提供があった場合の対応は

▶ 合特業者に対し公正公平な支援を





## 問 保育所の待機児童対策について問う

少子化の原因の一つとして安心して産み育てられない社会的背景があり、保育所待機児童問題もまたその一因である。保育所等への入所について、保護者から「兄弟で同じ保育所に入れないのか」「復職したいが入所は難しいのか」との声や民間の保育所から「保育士が確保できない」等の切実な声を聞く。保護者や保育所の不安を解消すべく、保育士等への就労奨励金を制度化してはどうか。

## 答 既存の制度を活用しながら、新たな手法など調査研究していく

現在、保育士の資格を持ちながら保育所等で就労していない潜在保育士に対して、職場復帰セミナーやU・I・Jターン促進事業を実施しており、職場復帰セミナーにおいては、昨年度参加者9名のうち4名が、U・I・Jターン促進事業においては、過去3年間で2名が就労につながっている。当該セミナーなどの充実を基本としつつ、U・I・Jターン促進事業も活用しながら、今後、当該セミナーと相乗効果が期待される新たな手法など、他市の制度も調査研究し、津私立保育園協議会と連携しながら、保育士を確保し、よりよい保育サービスの提供ができるよう取り組んでいく。

### その他の質疑・質問

- 三重大学・津市子ども教育センター（仮称）の安心できる居場所づくりについて
- 農林水産物のブランド力向上について
- 津駅周辺の道路空間検討の社会実験を通じた大門・丸之内地区未来ビジョンづくりについて
- 大規模災害時における避難行動要支援者の移動手段として避難タクシー導入の考えは **など**

▶  
安心して産み育てられる環境づくりを



## 問 農業用ため池の利活用で再生可能エネルギーの普及促進を

再生可能エネルギーの普及促進の観点から、市所有の農業用ため池の利活用として、水上設置型太陽光発電設備を設置することは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、また、財政の観点からも非常に有効であると考えますが、どうか。

また、自治会等が管理しているため池に水上設置型太陽光発電設備の設置を進める上で、所有者が不明の場合等における津市としてのサポートは、

## 答 ため池の管理者である地元の意向も踏まえ検討していく

農業用ため池への水上設置型太陽光発電設備の設置について、複数事業者から相談を受けているが、具体的な設置基準がないことから、三重県ため池対策推進協議会の会議等の機会を捉え、基準の策定について県に要望したところ、令和4年度末の策定に向けて取り組みが進められている。

津市においても、県が策定する設置基準等に準拠するとともに、地元の意向も踏まえ、設置について検討していく。

また、所有者が不明なケースなど、登記上の問題について相談があった場合は、相談者に寄り添い、問題の解決に向けてサポートしていく。

### その他の質疑・質問

- 第三セクターの街づくりにおける役割について
  - 津センターパレスについて
  - 津駅前都市開発（アスト津）について
- お城公園における指定管理者制度の導入について
- デマンド交通の実証実験への考えは

▶  
ため池に設置された水上設置型太陽光発電設備



# 議決結果一覧表

今期定例会では、承認2件、報告7件、条例の制定2件・一部改正18件、令和4年度補正予算16件、請願1件、人事案件1件、その他4件の51議案が審議されました。

その結果、報告7件、請願1件を除く、43件は承認、可決、同意されました。

また、請願1件は不採択とされました。

## 可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で承認・可決・同意された議案】

議案番号	議案名 概要
承認第10号	専決処分の承認について 令和4年度津市一般会計補正予算（第9号） 道路橋りょう災害復旧事業、河川災害復旧事業の増による1,556万1,000円の増額補正
承認第11号	専決処分の承認について 令和4年度津市一般会計補正予算（第10号） 予防衛生事業の増による1億1,382万6,000円の増額補正
議案第107号	津市職員の給与に関する条例及び津市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部の改正について 人事院勧告に伴い、給料月額を平均0.3%引き上げ、令和4年12月期の勤勉手当の支給月数を0.1月分引き上げ、令和5年度以降の勤勉手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き上げるなどの改正
議案第109号	津市常勤の監査委員の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 一般職の勤勉手当の支給率の改定に連動し、令和4年12月期の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ、令和5年度以降の期末手当の支給月数を、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き上げる改正
議案第110号	津市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 一般職の勤勉手当の支給率の改定に連動し、令和4年12月期の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ、令和5年度以降の期末手当の支給月数を、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き上げる改正
議案第111号	津市教育委員会教育長等の給与及び旅費等に関する条例の一部の改正について 一般職の勤勉手当の支給率の改定に連動し、令和4年12月期の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ、令和5年度以降の期末手当の支給月数を、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き上げる改正
議案第113号	令和4年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 傷病手当金の増による350万円の増額補正（事業勘定）
議案第114号	津市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について 情報通信技術を活用した行政の推進について、情報通信技術を利用する方法により手続き等を行うために必要となる事項を定めることにより、手続き等に係る関係者の利便性の向上ならびに行政運営の簡素化および効率化を図り、もって市民生活の向上に寄与するため必要な事項を定める条例の制定
議案第118号	津市職員定数条例の一部の改正について 職員の定年引き上げに伴い、段階的に定数外の再任用短時間勤務職員が正規職員に置き換わっていくことに加え、将来の職員構成も勘案した継続的な職員の新規採用や今後の行政需要に対応できる体制の確保など、効率的かつ実効性のある業務執行体制の下、定員管理の適正化を図るため職員の定数の総数を2,750人とし、各機関別の職員定数を改正する
議案第120号	津市手数料徴収条例の一部の改正について 都市の低炭素化の促進に関する法律施行規則等が改正され、低炭素建築物新築等計画および建築物エネルギー消費性能向上計画の認定申請における申請の単位が変更されたことなどに伴う所要の改正
議案第122号	津市とことめの里一志の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 津市とことめの里一志に設置している一志温泉のパターゴルフ場は使用者の減少が著しいことから、同施設を令和5年3月31日をもって廃止するための所要の改正
議案第123号	津市都市公園条例の一部の改正について 都市公園法に基づく公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した中勢グリーンパーク官民連携事業において整備する中勢グリーンパークの有料公園施設について、使用に係る料金の上限額を定めるための所要の改正
議案第124号	津市水道事業給水条例の一部の改正について 水道の再開栓について、申込者からの再開栓の申込み後、速やかに水道の使用を開始できるよう再開栓手数料の徴収時期を変更するための所要の改正
議案第125号	津市水道事業給水条例等の一部改正について 水道および工業用水道に係るメーターの検針および料金徴収の時期ならびに農業集落排水処理施設、公共下水道、市営浄化槽および共同汚水処理施設に係る使用料の徴収を隔月に統一するための所要の改正

議案番号	議 案 名
	概 要
議案第126号	津市立教育研究所設置条例の一部の改正について 津市立教育研究所を移転するための所要の改正
議案第127号	津市立学校設置条例の一部の改正について 園児数の減少に伴い、現在休園中の津市立育生幼稚園を令和5年3月31日をもって廃止するための所要の改正
議案第128号	津市公民館の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 河芸地域の公共施設の再編に当たり、津市河芸公民館、津市豊津公民館および津市黒田公民館の機能を合わせた新たな地域の拠点となる公民館として津市河芸公民館を整備するための所要の改正
議案第129号	中勢グリーンパークの指定管理者の指定について 三幸株式会社（令和5年4月1日から令和15年3月31日まで）
議案第130号	三重県市町総合事務組合規約の一部の変更に関する協議について 三重県市町総合事務組合における物品および業務委託に係る入札参加資格申請の受付および審査の共同化に関する事務について、令和5年4月1日から共同処理する市町に伊勢市および松阪市を加えることから三重県市町総合事務組合規約を変更することに係る協議
議案第131号	市道路線の廃止について 妙法寺13号線の廃止
議案第132号	市道路線の認定について 一身田平野第11号線ほか41路線の認定
議案第133号	令和4年度津市一般会計補正予算（第12号） 学校管理運営事業、ごみ処理施設管理運営事業、し尿処理施設管理運営事業の増等による4億4,842万1,000円の増額補正等
議案第134号	令和4年度津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 国庫支出金等精算返納金等の増、国民健康保険事業運営基金積立金等の減による1,568万4千円の減額補正（事業勘定）、一般職給の増による1万3,000円の増額補正（直営診療施設勘定）
議案第135号	令和4年度津市介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 介護予防サービス等給付事業等の増、一般職給等の減による42万7,000円の増額補正
議案第136号	令和4年度津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） 一般職給の減による413万4,000円の減額補正
議案第137号	令和4年度津市営浄化槽事業特別会計補正予算（第1号） 一般管理事業等の増、市営浄化槽事業の減による171万5,000円の減額補正
議案第138号	令和4年度津市共同汚水処理施設事業特別会計補正予算（第2号） 維持管理事業の増、一般管理事業の減による411万円の増額補正
議案第139号	令和4年度津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） 農業集落排水事業維持管理事業の増、一般管理事業の減による1,558万1,000円の増額補正
議案第140号	令和4年度津市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） 一般職給の減による1,358万4,000円の減額補正
議案第141号	令和4年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号） 貸付事業運営費、一般職給の増による1,652万3,000円の減額補正
議案第142号	令和4年度津市水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出686万7千円の増額補正、資本的支出122万6,000円の減額補正
議案第143号	令和4年度津市工業用水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出209万1,000円の増額補正、資本的支出50万円の減額補正
議案第144号	令和4年度津市下水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出2,722万5,000円の増額補正、資本的支出555万4,000円の増額補正
議案第145号	令和4年度津市モーターボート競走事業会計補正予算（第1号） 収益的支出54億8,865万5,000円の増額補正、資本的支出8億6,723万2,000円の減額補正
議案第146号	津市教育委員会委員の選任につき同意を得るについて やまぐち ともみ 山口 友美
議案第147号	令和4年度津市一般会計補正予算（第13号） 道路維持事業、出産・子育て応援事業、公園整備事業の増等による10億3,198万2,000円の増額補正等

【賛成多数で可決された議案】

議案番号	議案名 概要	賛成しなかった議員
議案第108号	津市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部の改正について 一般職の勤勉手当の支給率の改定に連動し、令和4年12月期の期末手当の支給月数を0.1月分引き上げ、令和5年度以降の期末手当の支給月数を、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き上げる改正	岡村武、渡辺晃一
議案第112号	令和4年度津市一般会計補正予算（第11号） 中小企業・小規模事業者支援事業、住民税均等割のみ課税世帯等生活応援給付金給付事業、地域医療推進事業の増等による5億7,303万6,000円の増額補正 《反対討論 未来開拓 長谷川 植議員》今後、物価やエネルギーの価格が安定し、景気が良くなると思えず、このような支援策は、その場しのぎにしかない。エネルギー価格が高騰し、市民の意識が節約の方向に向いている現状から逆行するような施策であることから反対する。	中野裕子、長谷川植
議案第115号	津市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について 個人情報の保護に関する法律が改正され、これまで地方公共団体が条例を定めて運用していた個人情報保護制度についても、令和5年4月1日から同法が適用されることから、同法の施行に係る手続き等に関し必要な事項を定める条例の制定 《反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》元となるデジタル改革関連法では、自分の個人情報が意思に反して利活用されることを拒否できる権利、いわゆる自己情報コントロール権が規定されておらず、プライバシー権が欠如していること、改正後の個人情報保護法ではオンライン結合の制限について規定されておらず、さらに津市が条例でこれまでのように独自に規定を定めることは許容されず、個人情報保護が後退すること、匿名加工情報を提供する規定が適用されるのは都道府県および政令市で、個人情報保護法が改定された際の提供について、津市が否定しなかったことから反対する。	中野裕子 佐藤知子（拒否）
議案第116号	津市情報公開条例の一部の改正について 個人情報の保護に関する法律が改正され、これまで地方公共団体が条例を定めて運用していた個人情報保護制度に対して令和5年4月1日から同法が適用されることから、本市における情報公開制度についても、同法の適用後の個人情報保護制度との運用上の整合を図るための所要の改正 《反対討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》議案第115号と関連するものであり、同様の理由により反対する。	中野裕子 佐藤知子（拒否）
議案第117号	津市職員の定年等に関する条例等の一部の改正等について 地方公務員法が改正され、職員の定年を引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢制および定年前再任用短時間勤務制を導入するほか、60歳を超える職員の給与に関する特例を設けることなどから、関係条例を改正し、津市職員の再任用に関する条例を廃止する	岡村武（拒否） 佐藤知子（拒否）
議案第119号	津市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 収賄罪により、津市職員が逮捕・起訴されたことに対する市長の責任として、令和5年1月1日から同年2月28日までの間における市長に対する給料月額を支給に当たっては、市長の給料月額から当該額の100分の10に相当する額を減じて得た額とするための改正	岡村武（拒否）
議案第121号	津市公契約条例の一部の改正について 本市の公共事業に従事する労働者の適正な労働環境の確保を目的として、労働報酬下限額等を定めるための所要の改正	岡村武（拒否）

報 告

議案番号	議案名 概要
報告第29号	専決処分の報告について 水路敷除草作業に伴う事故による損害賠償額の決定 8万1,972円
報告第30号	専決処分の報告について 施設敷地除草作業に伴う事故による損害賠償額の決定 6万1,500円
報告第31号	専決処分の報告について 市道除草作業に伴う事故による損害賠償額の決定 26万4,623円
報告第32号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 61万83円
報告第33号	専決処分の報告について 交通事故による損害賠償額の決定 19万6,900円

議案番号	議案名
	概要
報告第34号	専決処分の報告について 消防設備の管理の瑕疵による損害賠償額の決定 46万円
報告第35号	専決処分の報告について 津興橋大規模更新事業旧橋（下部工）撤去等工事に係る契約の一部変更 変更前 4億1,335万8,000円 変更後 4億1,239万8,800円

## 不採択とされた請願

請願番号	請願名	賛成議員
	概要	
請願第7号	津市の子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料を求める請願書 新型コロナの拡大や格差と貧困の広がりの中、医療費負担は、若い世帯や一人親家庭、障がい者にますます重くなってきている。安心して医療を受けられるよう、償還払い方式をやめ、窓口無料化を関係機関に働きかけるよう請願する。	中野裕子、渡辺晃一、桂三発、佐藤知子、田矢修介
	《賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員》病気になっても経済的な理由で病院を受診できない、まして命を落とすなどということは絶対あってはならないことである。経済事情にかかわらず、誰もが安心して医療を享受できるようにするべきであることから賛成する。	
	《賛成討論 津市民の会 渡辺 晃一議員》県内では、3市で子ども医療費について、政府の「就学前」とする枠を超えて窓口無料化を独自に行っている。実施すると国から数千万円のペナルティーが課されるが、モーターボート競走事業から一般会計へ繰り出すことができると考えることから賛成する。	



## 議会日誌

令和4年10月22日～令和5年1月23日

### 令和4年

11月 7日	会派代表者会議、全員協議会	12月12日	建設水道委員会
	建設水道委員会協議会	13日	教育厚生委員会
21日	議会運営委員会	14日	経済環境委員会
28日	本会議（開会日）	15日	総務財政委員会
30日	議会運営委員会、会派代表者会議	21日	議会運営委員会、会派代表者会議
12月 5日	本会議（質問日）	22日	本会議（閉会日）、議会だより編集委員会
6日	本会議（質問日）		
7日	本会議（質問日）		
8日	本会議（質問日）		

### 令和5年

1月20日	全員協議会、会派代表者会議
23日	議会だより編集委員会

# 本会議・委員会の模様を映像配信しています！

令和5年第1回定例会の本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信する予定です。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組（デジタル123チャンネル）でも本会議の模様を録画放送する予定です。

放送日程等は、決まり次第ケーブルテレビ等でお知らせします。



津市議会のホームページにアクセスできます。

津市議会ホームページから、「映像配信」にアクセスすると、ライブ映像、録画放送が視聴できます。



## 令和5年第1回定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
	2/20	21	22 本会議 初日	23	24	25
26	27	28 議会運営 委員会	3/1	2	3	4
5	6 本会議 質問日	7 本会議 質問日	8 本会議 質問日	9 本会議 質問日	10	11
12	13 建設水道 委員会	14 教育厚生 委員会	15 経済環境 委員会	16 総務財政 委員会	17	18
19	20	21	22	23 議会運営 委員会	24 本会議 最終日	25

日程は変更になる場合があります。  
その場合は津市議会ホームページでお知らせします。

## 編集後記

本紙をご覧いただき、ありがとうございます。

さて、ここで問題です。「つ市議会だより」は誰が編集しているのでしょうか。正解は、市議会議員で構成する議会だより編集委員会です。議会事務局職員の協力も得ながら、より多くの皆さまに読んでいただけるよう、試行錯誤を重ねております。現在のメンバーでの編集は、今号で最後となりますが、今後とも引き続きご愛読をお願い申し上げます。



津市議会のホームページでは、創刊号から最新号までの「つ市議会だより」を掲載しており、PDFファイルで閲覧およびダウンロードすることが可能です。また、第45号からは、音声ファイルも収録しています。



つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

つ市議会だより 第68号

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和5年2月16日／津市議会

津市西丸之内23番1号

TEL 059 (229) 3222・3223

FAX 059 (229) 3337

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆<https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/>

印刷◆共立印刷株式会社